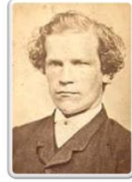


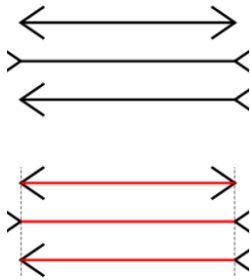
# ミュラーリヤー錯視について

良峯ゼミ 2年 21911128 北村 遼太郎

この実験の考案者: フランツ・カール・  
ミュラー・リヤー(1857-1916)



## ミュラーリヤー錯視とは…



## 実験の目的、問題意識

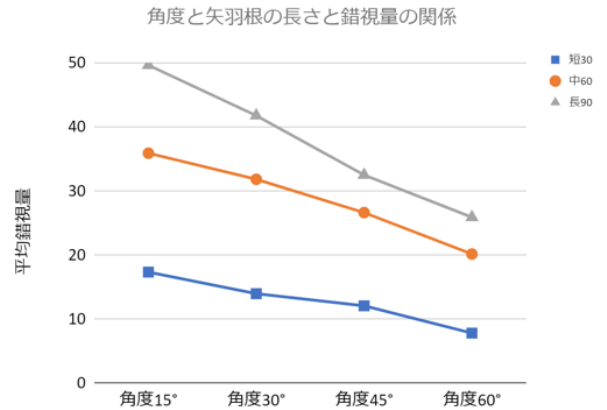
- 線分の両端に内向きの矢羽を付けたもの(右上段)と外向きの矢羽を付けたもの(右中段)の線分は、上段が短く、中段は長く感じられるが、実際は同じ長さである。
- なぜこのように見えるのか

### 一般的な仮説

一般にミュラーリヤー錯視の錯視量は、角度が $40^\circ$ 、長さが水平線の $1/3$ のときに錯視量が最大となるだけでなく、両者には相互作用があるといわれている。

はたしてそのようになるのか？

## オンラインでの実験結果



## 実験によってわかったこと

矢羽根の長さや角度が大きくなるにつれて、錯視量は減少する傾向にある。

仮説のようにはなっていない？

## 考察

- なぜ仮説に反し、矢羽根の長さや角度が大きくなるにつれて、錯視量は減少したのか

・ ・ 考察中 ・ ・

## 参考文献

- 錯視(ミュラーリヤー錯視) … <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8C%AF%E8%A6%96>(閲覧日: 12/24)
- 錯視/幾何学的錯視/ミュラーリヤー錯視 … <http://www.kecl.ntt.co.jp/illusionForum/v/mullerLyer/ja/index.html>(閲覧日: 12/24)